

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。




なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
シチズンホームページ (<http://citizen.jp/>) でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

この時計の機種番号は「8712」です。



安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

◆ 保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

◆ バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）

バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

◆ ねじロックリゅうずの使いかた

モデルによって、リゅうずがねじロック式の場合があります。

操作しないときにリゅうずをロックすることで、誤操作を防ぐことができます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

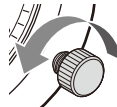
※ねじロック式ではない場合は、ロック／ロック解除をすることなくお使いいただけます。

操作する前に

リゅうずのロックを解除する

リゅうずを左にまわす。

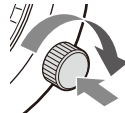
ロックが解除されると、リゅうずがせり出し、通常位置になります。



操作後は

リゅうずをロックする

リゅうずを押し込みながら右にまわして締める。



目次

ご使用になる前に.....	278
商品の特徴.....	281
充電について.....	282
充電時間の目安表.....	284
各部の名称.....	285
時刻の合わせかた.....	286
カレンダーの合わせかた.....	288
月齢の合わせかた.....	290
エコ・ドライブ（光発電）取り扱い上の注意.....	292
防水性能について.....	296
お取り扱いにあたって.....	299
仕様.....	307
お問い合わせ窓口.....	308

商品の特徴

◆ エコ・ドライブ（光発電）

太陽などの光を電気エネルギーに変えて、時計を動かす機能です。一度フル充電すると、約 6 カ月間、時刻を刻み続けます。

◆ 充電警告機能

秒針が 2 秒毎に進んで、充電不足をお知らせする機能です。秒針が 2 秒毎に進みはじめたら、太陽などの光を当てて、十分に充電してください。



約 4 日以上、時計に光が当たらないと、時計は停止してしまいます。

◆ クイックスタート機能

時計が停止した状態で光を当てると動き出す機能です。

時計が動きはじめた後も、太陽光などを当てて十分に充電してください。充電後は時刻を合わせ直してご使用ください。

充電について

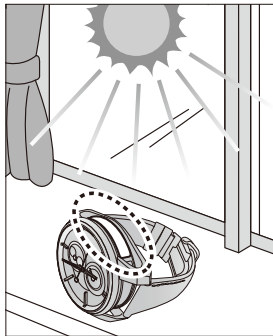
この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。時計側面に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。

時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、こまめに充電してください。

図のように時計側面（9時位置）が光に当たるように置いて充電すると、比較的効率よく充電する事ができます。

時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

- ・月に一度は長時間直射日光に当てて、5～6時間充電してください。
- ・光の当たらない場所での長期保管は避けてください。



充電について

- ・衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
- ・高温下（約 60℃以上）での充電はおやめください。

充電時間の目安表

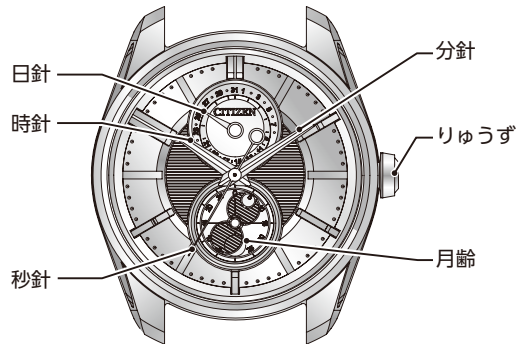
連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を 1日保つ	時計が停止して から通常に 動き出すまで	時計が停止して から充電完了まで
屋外 (晴天)	100,000	7 分	3.5 時間	25 時間
屋外 (曇天)	10,000	30 分	14 時間	100 時間
30W 蛍光灯 の 20cm 下	3,000	1 時間	30 時間	220 時間
屋内照明	500	4 時間	150 時間	—

* 最大まで充電する場合、直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、最大まで充電するには明るさが不十分です。

フル充電後の持続時間：約 6 ヶ月（通常使用時）

各部の名称



※お買い上げいただいた時計はイラストと異なる場合があります。

時刻の合わせかた

1

りゅうずを2段引き出します。



秒まで正確に合わせるには、秒針が0秒の位置に来るタイミングでりゅうずを引き出します。

2

りゅうずを回して時刻を合わせます。



分針を正しい時刻から5分ほど進めてから逆に戻して合わせると、より正確な針合わせができます。
日付が変わるところが午前0時付近です。午前と午後をまちがえないよう合わせてください。

3

りゅうずを元の位置に戻します。



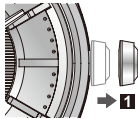
時報に合わせてりゅうずを押し込みます。
ねじロック式の場合は必ずロックしてください。
時計内部に浸水する場合があります。

カレンダーの合わせかた

- ・午後9時～午前1時頃を針が示しているときのカレンダー修正はお避けください。カレンダーが正しく切り替わらないことがあります。
- ・日は午後10時ごろから切り替わります。切り替わりにはおよそ2時間かかります。

1

リゅうずを1段引き出します。



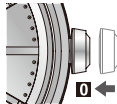
2

リゅうずを左に回して日を合わせます。



3

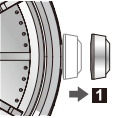
リゅうずを元の位置に戻します。



ねじロック式の場合は必ずロックしてください。時計内部に浸水する場合があります。

月齢の合わせかた

1 りゅうずを1段引き出します。



2 りゅうずを右に回して月齢を合わせます。





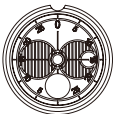




月齢

月の形の目安

新聞などから当日の月齢を読み取り、下記の「月齢の見方」を参考に影部分を動かして調整してください。

<月齢の見方>

新月 (朔) 月齢 0 (大潮)	上弦 月齢 約 7 (小潮)	満月 月齢 約 15 (大潮)	下弦 月齢 約 22 (小潮)	新月 (朔) 月齢 0 (大潮)
				

※ 月齢表示内 6 時位置の円は月の形の目安を示していますが、月の形そのものを表示したものではありません。月齢の目安としてお使いください。

新月 / 朔 (月齢 0) または満月 (月齢 15) のときに操作すると、より正確に月齢を合わせることができます。

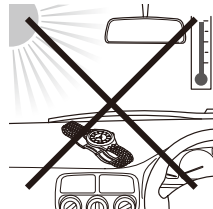
エコ・ドライブ（光発電）取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。
例）・ 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 指定の二次電池以外は使わないでください






- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。(1 bar は約 1 気圧に相当します)
- WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。

名 称	表 示	仕 様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—————	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水

使用例				
				
水がかかる程度の使用。 (洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンドайビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンペを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンドIVING）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10 / 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

お取り扱いにあたって



注意

人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬ怪我やかぶれを引き起こす可能性があります。

⚠ 注意 使用上の注意

- リューズは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。リューズがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままリューズ操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、リューズなど）が外れる危険があります。
- 蛇口から水道水を直接時計にかけないでください。水道水の圧力は非常に高い場合があります。
- 時計をしたまま入浴しないでください。防水構造の時計であっても、パッキン等の劣化を早める恐れがあります。

⚠ 注意 携帯時の注意

《バンドについて》

- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは革本来の風合いを生かすため表面処理を最小限に抑えておりますので、長時間光に当てますと色味が多少変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。
- 金属バンドは、駒と駒の間に汚れなどが溜まると、金属を腐食させ錆を発生させたり、かぶれの原因になります。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

- 以下の場合には速やかにバンドの調整修理をご依頼ください。
腐食などによりバンドに異常が認められたとき
バンドのピンが飛び出しているとき

《温度について》

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《静電気について》

- クォーツ時計に使われている IC は、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《磁気について》

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《化学薬品・ガス・水銀について》

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースははけなど使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。また、異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は乾いた布などで拭いて汚れを取り除いてください。

《夜光付き時計の場合は》

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間、蓄光塗料の量などによって発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

仕 様

機種	8712	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度	平均月差± 15 秒 常温(+5℃～+35℃) 携帯時		
動作温度	-10℃～+60℃		
表示機能	時刻：時、分、秒 カレンダー：日・月齢		
付加機能	光発電機能／過充電防止機能／ 充電警告機能(2秒運針)		
持続時間の目安	充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで： 約 6 ヶ月(通常使用時) 充電警告が始まってから時計が停止するまで：約 4 日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1 個		